

# 市政をチェックし、市政を動かす

## 大石議員が反対討論 物価高騰対策など強く要求

2022年度の一般会計決算など13議案に対し、大石議員が反対討論に立ちました。

下関・北九州道路など不要不急の大型開発、窓口縮小と職員削減・市民サービス後退につながるデジタル市役所推進、マイナンバーカード問題、学校給食のあり方、加齢性難聴者への補聴器助成

制度の創設、中小業者を廃業に追いやるインボイス制度などについて、具体的な問題点を指摘し、反対を表明。

市民生活と中小業者の経営を直撃している物価高騰に対し、国に抜本的な対策を求めるとともに、市独自の対策を強く求めました。



## 約束破りの海洋放出、代替案の検討もなし

### 伊藤議員が決議反対を表明



伊藤淳一議員は、自民党無所属の会が提出した「今こそ国産海産物を食べよう決議」に対する反対討論を行いました。

伊藤市議は、「国産海産物を積極的に消費することを広く呼びかけ、福島県産をはじめとした国産の海産物に対する風評被害の防止と消費の拡大に尽力していくことを宣言する」とした部分について反対するものではない、と表明。

一方、①「関係者の理解なしに行わない」とした漁業者、国民との約束を、政府自ら破って強行した海洋放出を当然視すべきではないこと②環境負荷の小さいモルタル固化や大型タンクによる保管など、実績のある代替策を行わず、環境に最も影響のある海洋放出を当然視するのは科学的ではない—として反対しました。

## 地球沸騰化対策意見書

### 市議会全会一致で可決

日本共産党市議団は9月議会で7本の意見書を提出しました（下表）。

このうち「『地球沸騰化』の深刻な警告を受け止め対策強化を求める意見書」が、全会一致で可決されました。6月議会でも「学校給食の無償化を求める意見書」が、圧倒的多数で可決（「日本維新の会」だけが反対）されています。市政のチェックとともに、市政を動かす力を発揮しています。

一方、「旧統一教会の解散命令請求を求める意見書」、「インボイス制度の中止を求める意見書」、「洋上風力をめぐる汚職事件の全容解明を求める意見書」などについては、自民、公明、ハートフル、維新が反対し、否決されました。

すべての意見書に  
対する賛否は  
こちらから



## 9月市議会 日本共産党提出の意見書 に対する賛否一覧

	日本共産党	自民党 無所属の会	公明党	北九州 ハートフル	自民未来	日本維新の会	賛否
	8	16	13	11	3	3	
旧統一教会の解散命令請求を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
約束違反の福島原発汚染水（アルプス処理水）の放出の中止等を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
物価高騰から消費者、事業者を守るため、トリガー条項発動と二重課税の解消を求める意見書	○	×	×	○	×	×	否決
インボイス制度の中止を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
性犯罪を根絶するための取組を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
洋上風力発電事業を巡る汚職事件の全容解明を求める意見書	○	×	×	×	×	×	否決
「地球沸騰化」の深刻な警告を受け止め対策強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決